



色丹島廃船

◎シンポジウム◎

戦争、国家、失われた故郷

北方領土×硫黄島 2024年1月20日(土) ●午後2～5時 ●入場無料

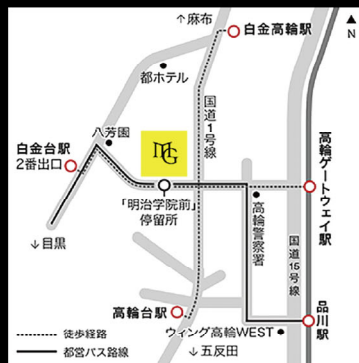


硫黄島

●会場 = 明治学院大学白金キャンパス 2号館 2301教室
〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37



別海より国後を望む



硫黄島へ

◎シンポジウム◎ 戦争、国家、失われた故郷 北方領土×硫黄島

北方領土と硫黄列島（東京都）は、日本の国境離島のうち、アジア太平洋戦争末期から現在に至るまで、政治的・外交的理由により島全体の島民が帰還できない、代表的な2つの地域である。アジア太平洋戦争末期、沖縄諸島と樺太などが地上戦に巻き込まれたことがよく知られている。一方で、硫黄列島も島民が地上戦に巻き込まれた後に米国に占領され、また北方領土（南千島及び色丹と歯舞諸島）も、北千島の占守島における激戦の後、ソ連に占領されるなど、ある種の共通性をもっている。

北方領土元島民と硫黄列島島民が戦後、故郷喪失・離散状態に置かれ続けてきた政治的背景はそれぞれ異なるが、本シンポジウムでは両地域をめぐる歴史経験を重ね合わせてみる。これによって、戦後80年を目前として今なお、国境離島において故郷に帰ることのできない人々がいる現実と、その歴史の継承について、深く考える機会としたい。

① 基調講演

岩下明裕（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授、NPO法人国境地域研究センター副理事長）

「国境島嶼史・北方領土史について」

石原 俊（明治学院大学社会学部教授、国際平和研究所所員、全国硫黄島島民3世の会顧問）

「硫黄列島史・小笠原諸島史について」

② パネルディスカッション

「島民子孫の歴史継承の取り組みについて」

北方領土：久保浩昭（北方領土国後元島民2世、旧通信省千島回線陸揚庫保存会会長）

硫黄島：西村怜馬（硫黄島旧島民3世、全国硫黄島島民3世の会会長）

羽切光子（硫黄島旧島民3世、全国硫黄島島民3世の会副会長）

コメント：岩下明裕

石原 俊

鈴木英生（毎日新聞オピニオン編集部専門記者）

司会：山田淳子（北方領土歯舞群島志発元島民3世、写真家）

● 連絡先

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西7丁目

TEL：011-706-2388

E-MAIL：iwasi@slav.hokudai.ac.jp

URL：https://src-h.slav.hokudai.ac.jp/center/staff-j.html



明治学院大学国際平和研究所（PRIME）



〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

明治学院大学白金キャンパス 本館9階

TEL：03-5421-5652

E-MAIL：prime@prime.meijigakuin.ac.jp

URL：http://www.meijigakuin.ac.jp/~prime

● 主催・後援団体

主催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

共催：明治学院大学国際平和研究所

後援：根室市

独立行政法人北方領土問題対策協会

NIHU「東ユーラシア研究」北大SRC拠点

明治学院大学社会学部附属研究所

公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟

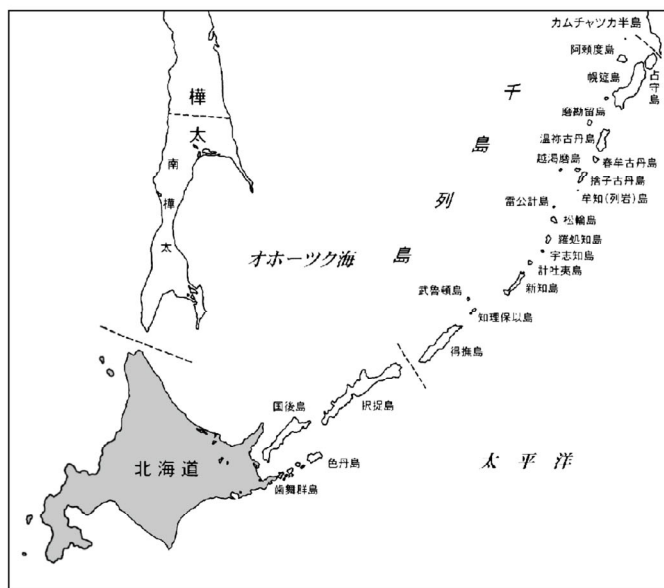
全国硫黄島島民3世の会

一般社団法人硫黄島島民促進協議会



◎ 岩下明裕 経歴

1962年生まれ。博士（法学、九州大学）。専門分野はボーダースタディーズ（境界研究）及びユーラシア国際政治・ソ連/ロシア外交。中露国境を皮切りに、日本及び世界の境界地域に関わる研究に従事。実社会共創としては、2011年に稚内、根室、小笠原、対馬、与那国など国境に近い10の自治体でつくる境界地域ネットワークJAPANを設立。また境界地域をつなぐボーダーツアーを、旅行社、NPO法人などと組み、日露、日露、中露の国境地域などで主宰。著書に『入門 国境学 主権、国家、イデオロギー』（中公新書）、『ボーダーツーリズム：観光で地域をつくる』（北海道大学出版会）、『世界はボーダーフル』（北海道大学出版会）など。北方領土をめぐる交渉で安倍政権の対露交渉の「失敗」について問題提起を行っている。



◎ 石原 俊 経歴

1974年、京都市生まれ。京大大学院文学研究科（社会学専修）博士後期課程修了。博士（文学）。千葉大学助教、明治学院大学准教授、カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員研究員などを経て現職。専門は、歴史社会学・島嶼社会論。著書に『硫黄島』（中公新書、2019年）、『〈群島〉の歴史社会学』（弘文堂、2013年）、『近代日本と小笠原諸島』（平凡社、2007年）など。編著に『シリーズ 戦争と社会』（共編：岩波書店、2021～22年）など。

